

トウキ

【 *Angelica acutiloba* 】

科名 セリ科

属名 シシウド属

薬効・用途

根（当帰 トウキ）は体を温め婦人の冷え症、貧血症、腹痛、生理痛、生理不順、血行不順などの要薬として、漢方処方当帰芍薬散、加味逍遙散、十全大補湯などに配合される。根だけでなく葉も体を温める作用があることから浴湯料として用いられる。また成熟果実で造った「トウキ酒」は、血行が良くなり体が温まり力がつく。



・花期：8～9月

備考

多年草。北海道～本州中部地方に分布する。昔、婦人病になってやつれはて夫に浮気されて去られてしまった婦人が、この薬を飲んだところ、病がすっかり治って元気になったばかりか、前よりも美しくなり、夫が妻のもとへ帰ってきたということから「当帰」（まさに帰る）という名前がつけられたと言われている。両性花。